

(記載例・協働部署用)

協働事業評価・報告書

事業名	非対面でも実施可能な児童養護施設への就労支援普及事業
団体名	特定非営利活動法人フェアスタートサポート
県協働部署名	福祉子どもみらい局子どもみらい部子ども家庭課
事業期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～令和 6 年 3 月 31 日

1 個別事業ごとの進捗状況

事業 1	施設の中高生への職業適性検査提供事業
(1) 目標	20 施設 80 名への適性検査実施
(2) 実績 ※事業の実施によって生じた結果を、数値等により箇条書きで記入してください。 ※この欄に入りきらない場合は、別紙も可。	貸し出し：6 施設、19 人 施設訪問：14 施設、29 人 団体事務所実施：14 施設、14 人 計 延べ 34 施設（実数 15 施設）、62 人
(3) 実績・成果に対する評価 ※実績や成果についてどのように考えているかを記入してください。	新型コロナウイルス感染症の扱いが変わったことで、徐々にその影響は薄れてきていますが、積極的に活動していただいたと認識しています。
(4) 進捗状況	ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。(76%)※1 年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。 イ) 上記ア) のように判断した理由を記入してください。 目標数値に対する実績数値が 施設数 75% (※実数) 人数 約 77.5% 上記のようになる為、単年度の進捗としては上記のように判断しました。 ウ) この事業の課題と対応策 就労支援や適性検査を実施したのちのフィードバックを適切に行える人材の育成に力を入れていただき、順調に進んでいたと認識しています。協働事業としては終了後も、この事業で広がったネットワークを維持・さらに拡大させ今後の活躍を期待しています。

事業 2	施設内で実施可能なキャリア教育教材の開発
(2) 目標	動画 7 本作成
(2) 実績 ※事業の実施によって生じた結果を、数値等により箇条書きで記入してください。 ※この欄に入りきらない場合は、別紙も可。	動画 7 本を作成し県内施設へ配布予定 (※動画自体は 3 月中に完成。DVD の作成と配布作業が未実施の為、4 月中に完了予定) 初年度に動画を制作した産業人材課との協働で、かなテクカレッジでの体験入校会を 8 月に施設へ周知した
(3) 実績・成果に対する評価 ※実績や成果についてどのように考えているかを記入してください。	子ども家庭課では、事業 2 にはほぼ関わりがありませんでしたが、広報面では協力ができたのではないかと考えています。実際に当事者が話すことでリアリティもあり、施設でも有用なキャリア教育教材になると思います。

(4) 進捗状況	ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。(95%) ※1年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。
	ロ) 上記ア) のように判断した理由を記入してください。 動画自体の制作は済んでいるが、施設への配布作業が残っているため、単年の進捗としては上記のように判断
	ウ) この事業の課題と対応策 特になし

(注) 個別事業が2つ以上ある場合は、上の表を複写して記入してください。

2 協働事業を継続する上での課題とその対応策

※本年度で協働事業負担金事業が終了する場合は、記入する必要はありません

3 負担金事業終了後の当該協働事業の見通し

※協働終了とする場合、団体は事業の継続の見通しについて記入してください。県協働部署にあっては、記入は不要です

4 協働事業の評価 (はい・いいえ・どちらともいえない、のいずれかに○をしてください)

(1) 協働事業の成果

① 協働することで、単独で事業を行うよりも効果やメリットがありましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② 事業の受益者の満足を得ることができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③ ②で「はい」を選んだ場合、受益者の満足度を調べるためにどのようなことをしたかを記入してください。 児童養護施設等で自立支援を受け持つ職員が集まる「あすなろ連絡会」で、実際に適性検査やキャリア教育を受けた法人から報告を聞いています。本事業を利用したという話題も聞かれました。	
④ 協働事業の成果を記入してください。 児童養護施設等の自立支援の質の向上に寄与していると感じます。	

(2) 協働事業の協議の状況

<企画段階>

① 事業計画や目標の立て方について、団体と県とは事前の調整や協議を十分行いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② 団体と県とは対等な立場で協議を行いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③ 締結した協定書は事業を効果的に実施する上で適切でしたか。	はい・いいえ・どちらともいえない

<実施段階>

① 意思の疎通を円滑にし、事業の進捗状況を確認するため、団体と県とは節目ごとにメールや電話でのやりとりや定期的な協議を行いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② 協働部署(団体)の状況や担当者の置かれている立場についての理解に努めましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③ 必要な情報を県と共有することができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
④ 協議についての課題を記入してください。 特になし	

(3) 協働事業の役割分担

① 県(団体)との役割分担は適切でしたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② 協働事業の実施にあたって、あらかじめ定められた役割を果たすことができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③ 役割分担についての課題があると思われる場合は、記入してください。	

(4) 協働事業全体を通しての評価

① 全体として、団体と県とは対等な立場で協働ができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
② この事業の課題を解決する上で、協働という手法は有効だと思いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③ 協働事業全体を通じて気づいた点を記入してください。 児童養護施設等に入所中の児童だけでなく退所した児童の自立支援にも効果があると感じています。また施設に配置されている自立支援職員や職業指導員の支援力アップにもつながったと思います。検査結果のフィードバックの様子を見学させていただきましたが、とても丁寧で、施設職員にとっても良い勉強になっていると感じました。	

(5) 社会的認知の獲得

(第 16 号様式の 2)

①	取り組んでいる事業や成果について社会に知らせましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
②	① で「はい」を選んだ場合、具体的に何を行いどんな反応があったか（無かったのか）を記入してください。 児童養護施設等で自立支援を受け持つ職員が集まる「あすなろ連絡会」に参加し、事業の周知をしていただきました。本事業を利用したという話題も聞かれました。	
③	今後に向けた課題を記入してください。	

(6) 新たなネットワークの獲得

①	この事業を実施する上で新たなネットワークをつくる（広げる）必要性がありましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
②	① で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）努力しましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③	② で「はい」を選んだ場合、どんな努力をしたのかを記入してください。	
④	② で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）ことができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
⑤	④ で「はい」を選んだ場合、具体的に関係（連携）ができた機関の名称を記入してください。	

(7) 行政の施策等への影響

①	協働事業の実施により、県職員のボランティア団体等に対する認識や行政の施策等に影響を与えることができましたか。（協働部署にあっては、影響を与えられたかどうかを回答してください。）	はい・いいえ・どちらともいえない
②	① で「はい」を選んだ場合、具体的に変化や影響があったと思われることがあれば記入してください。	

(8) 費用対効果

①	事業の効果から見て、要したコストは適切でしたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
②	① で「いいえ」を選んだ場合、その理由と、今後の対応策を記入してください。	